

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2003-305156

(P2003-305156A)

(43) 公開日 平成15年10月28日 (2003.10.28)

(51) Int.Cl.<sup>7</sup>

A 6 3 F 5/04

識別記号

5 1 2

F I

A 6 3 F 5/04

マーク (参考)

5 1 2 C

審査請求 未請求 請求項の数 5 OL (全 8 頁)

(21) 出願番号 特願2002-115589(P2002-115589)

(22) 出願日 平成14年4月18日 (2002.4.18)

(71) 出願人 390026620

山佐株式会社

岡山県新見市高尾362-1

(72) 発明者 米積 孝之

岡山県新見市高尾362の1 山佐株式会社

内

(74) 代理人 100118315

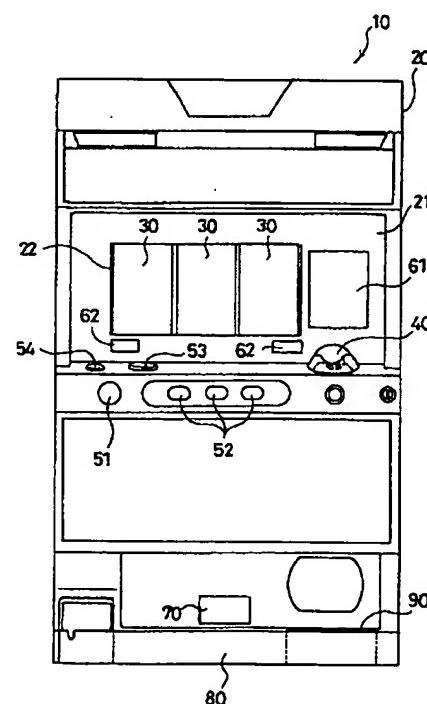
弁理士 黒田 博道

(54) 【発明の名称】 遊技機

(57) 【要約】

【課題】 遊技媒体が払い出される払出口70と、この払出口70から払い出された遊技媒体を受け止めて貯留するための受け皿80とを備えた遊技機10において、紙幣や硬貨やプリペイドカードなどの小物をはさめるようにしつつも、表示装置や遊技盤面などの視認を妨げないようにする。

【解決手段】 受け皿80に、小物をはさむための溝である小物用溝90を設ける。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】遊技媒体が払い出される払出口と、この払出口から払い出された遊技媒体を受け止めて貯留するための受け皿とを備えた遊技機であって、前記受け皿には、小物をはさむための溝である小物用溝が設けられていることを特徴とする遊技機。

【請求項2】前記受け皿は、底板と、この底板の周囲から上方へ向けて突出する側板とを有し、前記小物用溝は、側板の上面から下面まで貫通するよう形成されているとともに、小物用溝の内周面には、小物用溝の上側の開口部から挿入した小物が小物用溝を通過して小物用溝の下側の開口部から落下しないようにするための多数の突起が設けられていることを特徴とする請求項1記載の遊技機。

【請求項3】前記小物用溝は、小物が挿入される開口部から、小物が挿入される奥方向へ向けて、その幅が次第に狭くなるように形成されていることを特徴とする請求項1又は2記載の遊技機。

【請求項4】前記受け皿には、小物をはさむためのクリップが設けられ、このクリップに、小物をはさむための溝である小物用溝が設けられていることを特徴とする請求項1記載の遊技機。

【請求項5】前記受け皿は、底板と、この底板の周囲から上方へ向けて突出する側板とを有し、前記クリップは、小物をはさむためのはさみ部と、側板に係止される係止部とを有し、前記はさみ部に、小物をはさむための溝である小物用溝が設けられ、前記係止部は、側板に着脱自在に形成されていることを特徴とする請求項4記載の遊技機。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、メダルや球などの遊技媒体を用いて遊技を行う遊技機、すなわち、スロットマシンやパチンコ機などの遊技機に関し、更に詳しくは、遊技媒体の受け皿に小物をはさめるようにした遊技機に関するものである。

## 【0002】

【従来の技術】従来から、メダルや球などの遊技媒体を用いて遊技を行う遊技機として、例えば、スロットマシンやパチンコ機などが提供されている。ここで、スロットマシンでの遊技について説明する。スロットマシンでは、遊技媒体としてのメダルを投入し、その後にスタートスイッチを操作すると、3個すべての回転リールの回転が開始し、その後に3個のストップスイッチのうちの1個を操作すると、当該ストップスイッチに対応した回転リールの回転が停止する。そして、3個すべてのストップスイッチを操作し終えると、3個すべての回転リールの回転が停止する。このとき、所定の図柄が所定の位置に停止すると、入賞となる。そして、入賞態様に応じ

た枚数のメダルが、クレジットされるか、又は払出口から払い出される。また、払出口から払い出されたメダルは、受け皿に受け止められて貯留される。そして、クレジットされているメダルを投入するか、又は受け皿に貯留されているメダルを投入して、次の遊技を行うのである。

【0003】ところで、スロットマシンやパチンコ機などの遊技機で遊技を行うには、メダルや球などの遊技媒体を借りる必要があり、更に、遊技を円滑に進めるためには、メダルや球などの遊技媒体をすぐに借りられるよう、手元に紙幣や硬貨やプリペイドカードなどを用意しておく必要がある。このため、スロットマシンであれば、前面パネルとメダル投入口との間などに、また、パチンコ機であれば、前面ガラスと枠との間などに、紙幣や硬貨やプリペイドカードなどをはさんで遊技が行われることがあった。

## 【0004】

【発明が解決しようとする課題】しかし、スロットマシンであれば、前面パネルには、メダルの投入枚数や抽選結果などを遊技者に知らせるための種々の表示装置が設けられ、また、パチンコ機であれば、前面ガラスの奥には、球が流下する遊技盤面が設けられている。このため、前面パネルとメダル投入口との間や、前面ガラスと枠との間などに、紙幣や硬貨やプリペイドカードなどをはさむと、表示装置や遊技盤面が見えにくくなってしまうことがあった。

【0005】(請求項1)そこで、請求項1記載の発明は、受け皿に小物用溝を設け、この小物用溝に紙幣や硬貨やプリペイドカードなどの小物をはさめるようにすることにより、紙幣や硬貨やプリペイドカードなどを手元に用意しておいて、遊技を円滑に進められるようにしつつも、表示装置や遊技盤面などの視認を妨げないようにした遊技機を提供することを目的とする。

【0006】(請求項2)また、請求項2記載の発明は、請求項1記載の発明の目的に加え、受け皿の側板に小物用溝を直接設けることにより、受け皿に小物用溝を設けるにあたって部品点数を増やさなくとも済むようにし、更には、小物用溝を側板の上面から下面まで貫通させるとともに、小物用溝の内周面には多数の突起を設けることにより、小物用溝内にゴミやホコリなどが溜まらないようにしつつも、紙幣や硬貨やプリペイドカードなどの小物は小物用溝の下側の開口部から落下しないようにした遊技機を提供することを目的とする。

【0007】(請求項3)また、請求項3記載の発明は、請求項1又は2記載の発明の目的に加え、小物が挿入される奥方向へ向けて小物用溝の幅が次第に狭くなるように形成することにより、厚さが異なる紙幣や硬貨やプリペイドカードなどの種々の小物を確実にはさめるようにした遊技機を提供することを目的とする。

【0008】(請求項4)また、請求項4記載の発明

は、請求項1記載の発明の目的に加え、受け皿に小物をはさむためのクリップを設け、このクリップに小物用溝を設けることにより、部品点数は増えるものの、従来の遊技機をそのままの形で利用できるようにした遊技機を提供することを目的とする。

【0009】(請求項5)更に、請求項5記載の発明は、請求項4記載の発明の目的に加え、クリップを受け皿に着脱自在に形成することにより、小物用溝内にゴミやホコリなどが溜まってしまったような場合には、クリップを受け皿から取り外して小物用溝内を容易に掃除できるようにした遊技機を提供することを目的とする。

【0010】

【課題を解決するための手段】(請求項1)請求項1記載の発明は、遊技媒体が払い出される払出口(70)と、この払出口(70)から払い出された遊技媒体を受け止めて貯留するための受け皿(80)とを備えた遊技機(10)であって、前記受け皿(80)には、小物をはさむための溝である小物用溝(90)が設けられていることを特徴とする。

【0011】すなわち、本発明に係る遊技機(10)は、受け皿(80)に小物用溝(90)を設け、この小物用溝(90)に紙幣や硬貨やプリペイドカードなどをはさめるようにしたものである。ここで、「遊技媒体」としては、例えば、メダルや球などがある。また、「遊技媒体が払い出される払出口(70)と、この払出口(70)から払い出された遊技媒体を受け止めて貯留するための受け皿(80)とを備えた遊技機(10)」としては、例えば、スロットマシンやパチンコ機などがある。

【0012】また、「払出口(70)」は、遊技媒体を払い出すためのものである。この払出口(70)は、遊技機(10)の前面下部に設けることができる。また、「受け皿(80)」は、払出口(70)から払い出された遊技媒体を受け止めて貯留するためのものである。この受け皿(80)は、遊技機(10)の前面下部であって払出口(70)よりも下方に設けることができる。

【0013】また、「小物」としては、例えば、紙幣や硬貨やプリペイドカードなどがある。また、「小物用溝(90)」は、小物をはさむための溝である。この小物用溝(90)は、受け皿(80)に設けられる。また、この小物用溝(90)は、受け皿(80)に直接的に設けてもよく、また、間接的に設けてもよい。

【0014】具体的には、例えば、受け皿(80)の側板(82)に小物用溝(90)を直接設けることができるし、また、受け皿(80)にクリップ(100)を設け、このクリップ(100)に小物用溝(90)を設けることもできる。また、受け皿(80)の側板(82)に小物用溝(90)を直接設ける場合にあっては、受け皿(80)の側板(82)の上面から下面まで貫通するように小物用溝(90)を形成してもよく、また、側板(82)の下面までは貫通しないように小物用溝(90)を形成してもよい。

【0015】また、この小物用溝(90)は、受け皿(80)の右端から左端にまで達するように設けてもよく、また、受け皿(80)の右端付近にのみ設けてもよい。また、この小物用溝(90)は、受け皿(80)に一つだけ設けてもよく、また、受け皿(80)に複数設けてもよい。また、パチンコ機のように上下に二つの受け皿(80)が設けられる場合にあっては、一方の受け皿(80)にのみ小物用溝(90)を設けてもよく、また、双方の受け皿(80)に小物用溝(90)を設けてもよい。

【0016】このように、受け皿(80)に小物用溝(90)を設け、この小物用溝(90)に紙幣や硬貨やプリペイドカードなどの小物をはさめるようにすることにより、紙幣や硬貨やプリペイドカードなどを手元に用意しておいて、遊技を円滑に進められるようにしつつも、表示装置や遊技盤面などの視認を妨げないようにすることができるのである。

【0017】また、スロットマシンやパチンコ機などの遊技機(10)で比較的長時間に渡って遊技を行う場合にあっては、遊技者が食事などのために遊技の途中で一時的に席を離れることがある。このような場合、一時的な離席であることを他人に知らせるために、従来は、受け皿(80)にメダルやライターなどを入れておくことが一般的に行われていた。しかし、受け皿(80)にメダルやライターなどを入れておくだけでは、一時的な離席であることがわかりにくかった。そこで、受け皿(80)に小物用溝(90)を設け、この小物用溝(90)にメダルや一時的な離席であることを明示したカードなどをはさめるようすることにより、一時的な離席であることをわかりやすくすることができる。

【0018】(請求項2)また、請求項2記載の発明は、請求項1記載の発明の特徴に加え、前記受け皿(80)は、底板(81)と、この底板(81)の周囲から上方へ向けて突出する側板(82)とを有し、前記小物用溝(90)は、側板(82)の上面から下面まで貫通するように形成されているとともに、小物用溝(90)の内周面には、小物用溝(90)の上側の開口部から挿入した小物が小物用溝(90)を通過して小物用溝(90)の下側の開口部から落下しないようにするための多数の突起(91)が設けられていることを特徴とする。

【0019】ここで、受け皿(80)は、底板(81)と、この底板(81)の周囲から上方へ向けて突出する側板(82)とを有している。そして、小物用溝(90)は、受け皿(80)の側板(82)に直接設けられている。このように、小物用溝(90)を受け皿(80)の側板(82)に直接設けることにより、受け皿(80)に小物用溝(90)を設けるにあたって、部品点数を増やさなくても済むようになることができる。

【0020】また、小物用溝(90)は、側板(82)の上面から下面まで貫通するように形成されている。このように、小物用溝(90)を側板(82)の上面から下面まで

貫通させることにより、小物用溝（90）内にゴミやホコリなどが溜まらないようにすることができ、これにより、掃除の手間を省くことができるのである。

【0021】更に、小物用溝（90）の内周面には、小物用溝（90）の上側の開口部から挿入した小物が小物用溝（90）を通過して小物用溝（90）の下側の開口部から落下しないようにするための多数の突起（91）が設けられている。ここで、「突起（91）」は、小物用溝（90）に挿入された小物が小物用溝（90）を通過して落下しないようにするためのものである。

【0022】したがって、突起（91）の位置、大きさ、数、間隔などは、小物用溝（90）の長さ、幅、深さなどに応じて適宜定められるものである。このように、小物用溝（90）の内周面に、小物用溝（90）の上側の開口部から挿入した小物が小物用溝（90）を通過して小物用溝（90）の下側の開口部から落下しないようにするための多数の突起（91）を設けることにより、小物用溝（90）内にゴミやホコリなどが溜まらないようにしつつも、紙幣や硬貨やブリベイドカードなどの小物は小物用溝（90）の下側の開口部から落下しないようにすることができますのである。

【0023】（請求項3）また、請求項3記載の発明は、請求項1又は2記載の発明の特徴に加え、前記小物用溝（90）は、小物が挿入される開口部から、小物が挿入される奥方向へ向けて、その幅が次第に狭くなるように形成されていることを特徴とする。ここで、「小物が挿入される開口部」とは、小物が挿入される側の開口部を意味するものである。

【0024】例えば、小物用溝（90）が側板（82）の上面から下面まで貫通するように形成され、側板（82）の上面及び下面の双方に小物用溝（90）の開口部が設けられている場合には、側板（82）の上面に設けられている開口部が、小物が挿入される開口部となる。また、「小物が挿入される奥方向」とは、開口部から挿入された小物が進む奥方向を意味するものである。

【0025】例えば、小物用溝（90）が側板（82）の上面から下面まで貫通するように形成され、側板（82）の上面及び下面の双方に小物用溝（90）の開口部が設けられている場合には、小物用溝（90）の下側が、小物が挿入される奥方向となる。このように、小物が挿入される開口部から、小物が挿入される奥方向へ向けて、小物用溝（90）の幅が次第に狭くなるように形成することにより、厚さが異なる紙幣や硬貨やブリベイドカードなどの種々の小物を確実にはさめるようにすることができますのである。

【0026】（請求項4）また、請求項4記載の発明は、請求項1記載の発明の特徴に加え、前記受け皿（80）には、小物をはさむためのクリップ（100）が設けられ、このクリップ（100）に、小物をはさむための溝である小物用溝（90）が設けられていることを特徴とす

る。

【0027】すなわち、本発明に係る遊技機（10）は、受け皿（90）にクリップ（100）を設け、このクリップ（100）に小物用溝（90）を設けたものであり、つまり、受け皿（90）に間接的に小物用溝（90）を設けたものである。このように、受け皿（90）に小物をはさむためのクリップ（100）を設け、このクリップ（100）に小物用溝を設けることにより、部品点数は増えるものの、従来の遊技機をそのままの形で利用できるようにすることができるるのである。

【0028】（請求項5）更に、請求項5記載の発明は、請求項4記載の発明の特徴に加え、前記受け皿（80）は、底板（81）と、この底板（81）の周囲から上方へ向けて突出する側板（82）とを有し、前記クリップ（100）は、小物をはさむためのはさみ部（101）と、側板（82）に係止される係止部（102）とを有し、前記はさみ部（101）に、小物をはさむための溝である小物用溝（90）が設けられ、前記係止部（102）は、側板（82）に着脱自在に形成されていることを特徴とする。

【0029】このように、クリップ（100）を受け皿（80）に着脱自在に形成することにより、小物用溝（90）内にゴミやホコリなどが溜まってしまったような場合には、クリップ（100）を受け皿（80）から取り外して、小物用溝（90）内を容易に掃除できるようにすることができますのである。

### 【0030】

#### 【発明の実施の形態】（第1の実施の形態）

（図面の説明）図1ないし図6は、第1の実施の形態を示すものである。図1は、本実施の形態に係る遊技機10の外観正面図、図2は、本実施の形態に係る遊技機10の受け皿80の外観斜視図、図3は、本実施の形態に係る遊技機10の受け皿80の要部断面図、図4及び図5は、本実施の形態に係る遊技機10の小物用溝90の上面図、図6は、本実施の形態に係る遊技機10の受け皿80の外観斜視図である。

【0031】（遊技機10）遊技機10は、図1に示すように、四角箱状の筐体20を備え、この筐体20の内部に、横並びに設けた3個の回転リール30を備えている。すなわち、本実施の形態に係る遊技機10は、スロットマシンである。また、筐体20の前面には、前面パネル21が設けられ、また、前面パネル21のほぼ中央には、図柄表示窓22が設けられている。また、図柄表示窓22の下方には、メダル投入口40、スタートスイッチ51、ストップスイッチ52、ベットスイッチ53、及び精算スイッチ54などが設けられている。また、図柄表示窓22の周囲には、液晶ディスプレイ61や7セグメントLED62などの表示装置が設けられている。また、前面パネル21の下部には、払出口70が設けられ、また、払出口70の下方には、受け皿80が設けられている。また、受け皿80には、小物をはさむための溝である小物用溝90が設けられている。

【0032】すなわち、本実施の形態に係る遊技機10は、受け皿80に小物用溝90を直接設けたものである。

(メダル投入口40) メダル投入口40は、メダルを投入するためのものであって、図1に示すように、図柄表示窓22の右斜め下方に設けられている。

【0033】(スタートスイッチ51) スタートスイッチ51は、各回転リール30の回転を開始させるためのものであって、図1に示すように、図柄表示窓22の左斜め下方に設けられている。そして、このスタートスイッチ51を操作すると、3個すべての回転リール30の回転が開始する。

【0034】(ストップスイッチ52) ストップスイッチ52は、各回転リール30の回転を停止させるためのものであって、図1に示すように、各回転リール30の下方に1個ずつ設けられている。そして、左側の回転リール30の下方に設けられているストップスイッチ52を操作すると、左側の回転リール30の回転が停止し、中央の回転リール30の下方に設けられているストップスイッチ52を操作すると、中央の回転リール30の回転が停止し、右側の回転リール30の下方に設けられているストップスイッチ52を操作すると、右側の回転リール30の回転が停止する。

【0035】(ベットスイッチ53) ベットスイッチ53は、クレジットされているメダルの枚数を減じてメダルの投入に代えるためのものであって、図1に示すように、図柄表示窓22の左斜め下方に設けられている。

(精算スイッチ54) 精算スイッチ54は、クレジットされているメダルを払い出すためのものであって、図1に示すように、図柄表示窓22の左斜め下方に設けられている。

【0036】(液晶ディスプレイ61) 液晶ディスプレイ61は、遊技者に当選又は入賞などを知らせるためのものであって、図1に示すように、図柄表示窓22の右方に設けられている。

(7セグメントLED62) 7セグメントLED62は、遊技者にメダルの投入枚数や貯留枚数などを知らせるためのものであって、図1に示すように、図柄表示装置22の下方に複数設けられている。

【0037】(払出口70) 払出口70は、メダルを払い出すためのものであって、図1に示すように、前面パネル21の下部に設けられている。

(受け皿80) 受け皿80は、払出口70から払い出されたメダルを受け止めて貯留するためのものであって、図1に示すように、払出口70の下方に設けられている。

【0038】この受け皿80は、上側に開口部を有する箱型に形成されている。具体的には、この受け皿80は、底板81と、この底板81の周囲から上方へ向けて突出する側板82とを有している。また、側板82のうち、遊技者から見て手前側にあるのが手前側側板83であり、また、遊技者から見て右側にあるのが右側側板84であり、また、遊

技者から見て左側にあるのが左側側板85である。

【0039】(小物用溝90) 小物用溝90は、小物をはさむための溝であって、図1及び図2に示すように、受け皿80に設けられている。具体的には、この小物用溝90は、図1及び図2に示すように、手前側側板83の右端附近に設けられている。また、この小物用溝90は、手前側側板83に直接設けられている。

【0040】また、この小物用溝90は、図1及び図2に示すように、手前側側板83の上面から下面まで貫通するように形成され、これにより、手前側側板83の上面及び下面の双方に開口部を有している。そして、この小物用溝90は、上側の開口部から小物が挿入されるとともに、下側の開口部からゴミやホコリなどが落下するようになっている。

【0041】また、この小物用溝90の内周面には、図3及び図4に示すように、小物用溝90の上側の開口部から挿入した小物が小物用溝90を通過して小物用溝90の下側の開口部から落下しないようにするための多数の突起91が設けられている。また、突起91は、図4に示すように、小物用溝90の両側の内周面を連結するように形成されている。また、突起91の間隔は、紙幣や硬貨やプリベイドカードなどの小物の幅よりも狭く形成されている。

【0042】また、この小物用溝90は、図3に示すように、上側の開口部から下側の開口部へ向けて、その幅が次第に狭くなるように形成されている。すなわち、この小物用溝90は、小物が挿入される開口部から、小物が挿入される奥方向へ向けて、その幅が次第に狭くなるように形成されているのである。なお、突起91は、小物用溝90の上側の開口部から挿入した小物が小物用溝90を通過して小物用溝90の下側の開口部から落下しないように形成されればよい。したがって、突起91は、図4に示すように、小物用溝90の両側の内周面を連結するように形成される場合に限られず、例えば、図5に示すように、小物用溝90の一方の内周面から他方の内周面へ向けて交互に突出させるように形成することもできる。

【0043】このように、本実施の形態に係る遊技機10は、受け皿80に小物用溝90を設け、この小物用溝90に紙幣や硬貨やプリベイドカードなどをはさめるようにしたものであり、これにより、紙幣や硬貨やプリベイドカードなどを前面パネル21とメダル投入口40との間にはさまなくとも済むようにして、7セグメントLED62などの表示装置の視認を妨げることがないようにしているのである。

【0044】また、本実施の形態に係る遊技機10では、遊技者が食事などのために遊技の途中で一時的に席を離れる際に、受け皿80に設けた小物用溝90にメダルや一時的な離席であることを明示したカードなどをはさむことができ、これにより、一時的な離席であることをわかりやすくすることができるのである。また、本実施の形態に係る遊技機10は、小物用溝90を受け皿80の側板82に直

接設けることにより、受け皿80に小物用溝90を設けるにあたって、部品点数を増やさなくとも済むようにしているのである。

【0045】また、本実施の形態に係る遊技機10は、小物用溝90を側板82の上面から下面まで貫通させることにより、小物用溝90内にゴミやホコリなどが溜まらないようにしているのである。また、本実施の形態に係る遊技機10は、小物用溝90の内周面に、小物用溝90の上側の開口部から挿入した小物が小物用溝90を通過して小物用溝90の下側の開口部から落下しないようにするための多数の突起91を設けることにより、小物用溝90内にゴミやホコリなどが溜まらないようにしつつも、紙幣や硬貨やプリペイドカードなどの小物は小物用溝90の下側の開口部から落下しないようにしているのである。

【0046】更に、本実施の形態に係る遊技機10は、小物が挿入される開口部から、小物が挿入される奥方向へ向けて、小物用溝90の幅が次第に狭くなるように形成することにより、厚さが異なる紙幣や硬貨やプリペイドカードなどの種々の小物を確実にはさめるようにしているのである。なお、本実施の形態では、小物用溝90は、図1及び図2に示すように、手前側側板83の右端付近に一つだけ設けたが、小物用溝90は、例えば、図6に示すように、手前側側板83の右端から左端にまで達するように形成してもよく、更には、右側側板84や左側側板85にも設けるなど、複数設けてもよい。

【0047】また、遊技機10は、スロットマシンに限られるものではなく、例えば、パチンコ機などであってもよい。また、パチンコ機のように上下に二つの受け皿80が設けられる場合にあっては、一方の受け皿80にのみ小物用溝90を設けてもよく、また、双方の受け皿80に小物用溝90を設けてもよい。

#### 【0048】(第2の実施の形態)

(図面の説明) 図7及び図8は、第2の実施の形態を示すものである。図7は、本実施の形態に係る遊技機10の受け皿80の外観斜視図、図8は、本実施の形態に係る遊技機10の受け皿80の要部断面図である。

【0049】(遊技機10) 本実施の形態に係る遊技機10は、図7に示すように、受け皿80にクリップ100を設け、このクリップ100に小物用溝90を設けたものであり、すなわち、受け皿80に間接的に小物用溝90を設けたものである。なお、本実施の形態に係る遊技機10は、受け皿80にクリップ100を設け、このクリップ100に小物用溝90を設けた点以外については、第1の実施の形態と同様である。

【0050】(クリップ100) クリップ100は、受け皿80に小物用溝90を設けるためのものである。このクリップ100は、図7及び図8に示すように、断面S字形に形成されており、小物をはさむためのはさみ部101と、側板82に係止される係止部102とを有している。

【0051】また、はさみ部101には、図7及び図8に

示すように、小物をはさむための溝である小物用溝90が設けられている。また、係止部102は、図7及び図8に示すように、フック状に形成されており、受け皿80の手前側側板83に係止可能に形成されている。これにより、クリップ100は、受け皿80に着脱自在とされている。

【0052】更に、図8に示すように、係止部102の所定位置には、半球状の係合突起103が設けられているとともに、手前側側板83の所定位置には、半球状の係合穴104が設けられている。そして、クリップ100の係止部102を、受け皿80の手前側側板83の所定位置に係止させると、係合突起103と係合穴104とが係合するようになっている。これにより、小物用溝90に紙幣や硬貨やプリペイドカードなどの小物を抜き差しする程度では、クリップ100が手前側側板83に沿って横方向に移動したり、あるいはクリップ100が手前側側板83から簡単に外れてしまったりしないようにしているのである。

【0053】このように、本実施の形態に係る遊技機10は、受け皿90に小物をはさむためのクリップ100を設け、このクリップ100に小物用溝を設けたものであり、これにより、部品点数は増えるものの、従来の遊技機をそのままの形で利用できるようにしているのである。また、本実施の形態に係る遊技機10は、クリップ100を受け皿80に着脱自在に形成することにより、小物用溝90内にゴミやホコリなどが溜まってしまった場合には、クリップ100を受け皿80から取り外して、小物用溝90内を容易に掃除できるようにしているのである。

【0054】なお、本実施の形態では、クリップ100は、図7に示すように、手前側側板83の右端付近に一つだけ設けたが、クリップ100は、複数設けてもよい。また、遊技機10は、スロットマシンに限られるものではなく、例えば、パチンコ機などであってもよい。また、パチンコ機のように上下に二つの受け皿80が設けられる場合にあっては、一方の受け皿80にのみクリップ100を設けて、このクリップ100に小物用溝90を設けてもよく、また、双方の受け皿80にクリップ100を設けて、各クリップ100に小物用溝90を設けてもよい。

#### 【0055】

【発明の効果】(請求項1)以上説明したように、請求項1記載の発明によれば、受け皿に小物用溝を設けたことから、この小物用溝に紙幣や硬貨やプリペイドカードなどの小物をはさむことができ、これにより、紙幣や硬貨やプリペイドカードなどを手元に用意しておいて、遊技を円滑に進めることができるようにしつつも、表示装置や遊技盤面などの視認が妨げられない遊技機を提供することができるるのである。

【0056】(請求項2)また、請求項2記載の発明によれば、受け皿の側板に小物用溝を直接設けたことから、受け皿に小物用溝を設けるにあたって部品点数を増やさずに済み、更に、小物用溝を側板の上面から下面まで貫通させるとともに、小物用溝の内周面には多数の突

起を設けたことから、小物用溝内にゴミやホコリなどが溜まらないようにしつつも、紙幣や硬貨やプリベイドカードなどの小物は小物用溝の下側の開口部から落下しない遊技機を提供することができるのである。

【0057】(請求項3)また、請求項3記載の発明によれば、小物が挿入される開口部から、小物が挿入される奥方向へ向けて、小物用溝の幅が次第に狭くなるよう形成したことから、厚さが異なる紙幣や硬貨やプリベイドカードなどの種々の小物を確実にはさめる遊技機を提供することができるのである。

【0058】(請求項4)また、請求項4記載の発明によれば、受け皿に小物をはさむためのクリップを設け、このクリップに小物用溝を設けたことから、部品点数は増えるものの、従来の遊技機をそのままの形で利用できる遊技機を提供することができるのである。

【0059】(請求項5)更に、請求項5記載の発明によれば、クリップを受け皿に着脱自在に形成したことから、小物用溝内にゴミやホコリなどが溜まってしまったような場合には、クリップを受け皿から取り外して小物用溝内を容易に掃除できる遊技機を提供することができるのである。

#### 【図面の簡単な説明】

【図1】第1の実施の形態に係る遊技機の外観正面図。  
【図2】第1の実施の形態に係る遊技機の受け皿の外観斜視図。

【図3】第1の実施の形態に係る遊技機の受け皿の要部断面図。

【図4】第1の実施の形態に係る遊技機の小物用溝の上\*

\*面図。

【図5】第1の実施の形態に係る遊技機の小物用溝の上面図。

【図6】第1の実施の形態に係る遊技機の受け皿の外観斜視図。

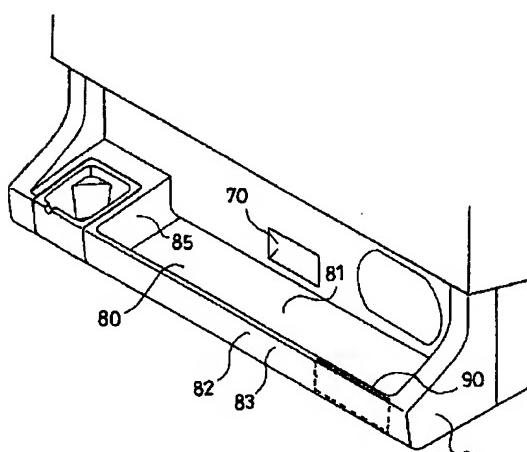
【図7】第2の実施の形態に係る遊技機の受け皿の外観斜視図。

【図8】第2の実施の形態に係る遊技機の受け皿の要部断面図。

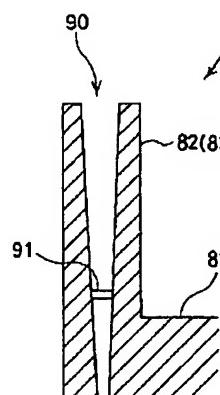
#### 10 【符号の説明】

10 遊技機	20 筐体
21 前面パネル	22 図柄表示窓
30 回転リール	40 メダル投入
□	
51 スタートスイッチ	52 ストップス
イッチ	
53 ベットスイッチ	54 清算スイッ
チ	
61 液晶ディスプレイ	62 7セグメン
トLED	
70 払出口	80 受け皿
81 底板	82 側板
83 手前側側板	84 右側側板
85 左側側板	90 小物用溝
91 突起	100 クリップ
101 はさみ部	102 係止部
103 係合突起	104 係合穴

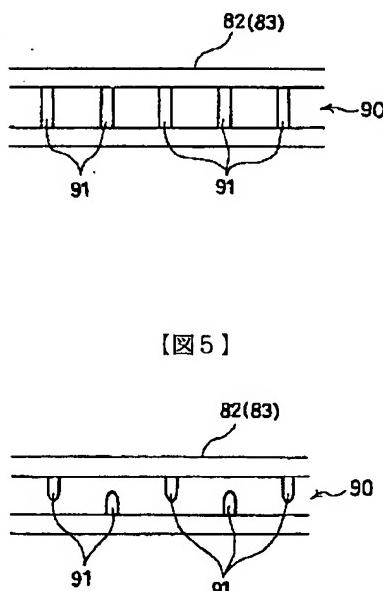
【図2】



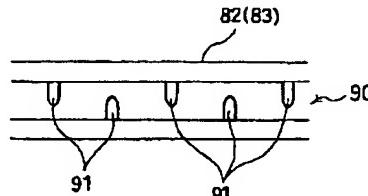
【図3】



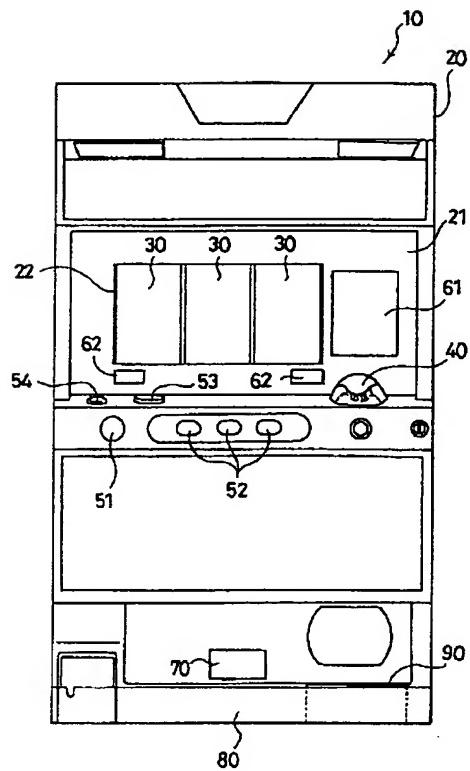
【図4】



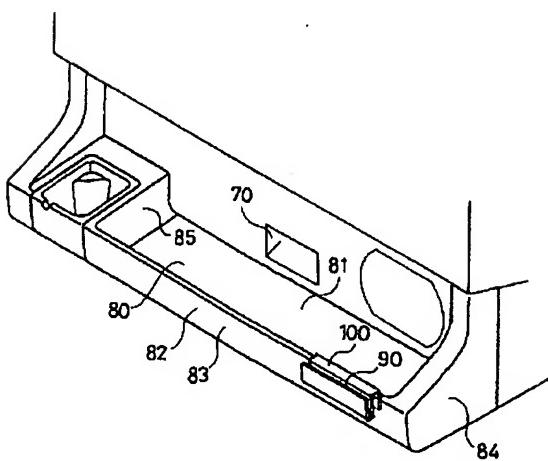
【図5】



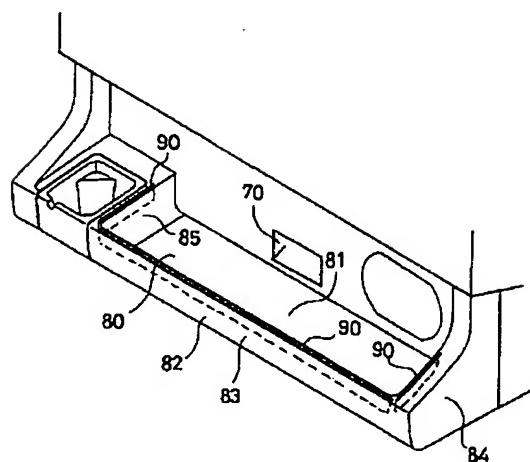
【図1】



【図7】



【図6】



【図8】

